

2023年4月28日

札幌市議会議長 様

会派名 札幌市議会民主市民連合議員会

代表者名 会長 桑原 透

政 務 活 動 概 要 報 告 書

政務活動費に関する取扱要領第6条第2項の規定により2022年度政務活動概要報告書を提出します。

1) 調査研究事業

○会派・政審会・所属議員が日常的に行っている、各種テーマの調査研究及び下記調査視察の準備等を立憲民主党札幌支部に業務委託している。

○「新型コロナウイルスとデジタル化に関するアンケート調査」
札幌市民の意見を伺い、市政に反映するための調査を実施した。

○札幌市内視察

(1) 札幌市内現地調査・市政相談等に使用した車のガソリン代として

○道外視察

①調査期間 5月25日～26日

調査都市 福岡市・熊本市 参加議員 2名

調査目的 ○敬老パス改善プロジェクトについて

- ・制度の概要について
- ・ICカードの運用について
- ・運用に係わる流れと事業委託について
- ・利用状況について
- ・これまでの制度改正の経過と経緯について

○JR九州ICカード『SUGOCA』について

- ・制度の概要について
- ・ICカードの運用について
- ・利用状況等について

○『熊本桜町バスターミナル』視察

- ・施設の概要について

- ・施設の運営状況について
- ・現状の利用状況（主にコロナ禍前）について

②調査期間 7月27日～29日

調査都市 宮崎市・熊本市 参加議員 5名

調査目的○議会DXについて

- ・実証実験の概要と取組状況について
- ・今後の問題点と解決策について

○地域コミュニティ活動交付金について

- ・地域コミュニティ活動交付金の概要について
- ・活動交付金の交付団体について
- ・活動交付金の分配方法について
- ・活動交付金の使途及び対象事業について

○ICT教育について

- ・ICT教育導入に至る経過について
- ・ICT教育モデルカリキュラムについて
- ・ICT教育のメリットと問題点等について

○学校指定寄附制度について

- ・事業の概要と取組方法について
- ・事業の効果と改善点等について

2) 研修事業

○会派・政審会・所属議員が日常的に行っている各種テーマの調査研究及び下記研修会の参加準備等を立憲民主党札幌支部に業務委託している。

① 研修名 『自治体議員防災研修』～災害への危機管理と議員の役割～

主催：防災士研修センター

日時 2022年4月22日～23日

場所 東京都

参加議員 1名

研修内容

○ 『災害と議会・議員の役割』

講師：令和防災研究所 所長 青山 侑 氏
(明治大学名誉教授・元東京都副知事)

○ 『防災と避難』

講師：令和防災研究所アカデミックフェロー 廣井 悠 氏
(東京大学大学院工学系研究科教授・元名古屋大学准教授)

○『自然災害と地域の安全』

講師：令和防災研究所アカデミックフェロー 加藤 孝明 氏
(東京大学生産技術研究所教授・東京大学社会科学研究所特任教授)

○『災害と危機管理』

講師：令和防災研究所アカデミックフェロー 中林 啓修 氏
(国土舘防災・救急救助総合研究所准教授・元明治大学危機管理研究センター研究員)

② 研修名 『JISSEN』～自治体政策ネットワーク～研修会～

主催：JISSEN (自治体政策青年ネットワーク)

日 時 2022年5月10日～11日

場 所 福岡市・古賀市

参加議員 1名

研修内容

- 『地方版IoT推進ラボが集積する福岡県』 福岡県庁 商工部担当職員より
 - ・プロジェクト推進会議の経緯と経過について
 - ・プロジェクト推進会議の課題等について
 - ・プロジェクト推進会議の展望について

- 『小児ガン患者の支援について』
講 師：にこスマ九州代表理事 白石 恵子 氏 (心理士)
 - ・小児がん患者の現状と課題について
 - ・今後の小児がん患者に対する行政支援のあり方について
- 古賀市『第5次古賀市総合計画基本構想(2022-2031)』について
講 師：古賀市 市長 田辺 一誠 氏
 - ・古賀市の現状について
 - ・『第5次古賀市総合計画基本構想』策定にあたっての経緯と取組について
- 薬王寺温泉オフィス「快生館」現地視察
説明者：古賀市 市長 田辺 一城 氏
 - ・薬王寺温泉オフィス「快生館」の経緯と経過について
 - ・オフィスワーケーションの利用状況などについて

③ 研修名 全国地方議会サミット2022

主催：全国ローカルマニフェスト推進連盟

日時 2022年5月12日～13日

場所 東京都

参加議員 1名

研修内容

- チーム議会で取り組む「自己決定・自己責任」の地方自治
講師：早稲田大学名誉教授 北川 正恭 氏
- 一人一人の多様な幸せを実現するデジタル庁のミッション
講師：デジタル大臣 牧島 かれん 氏（動画出演）
- 住民自治と多様な議員で構成された活力ある議会
講師：大正大学社会共生学部教授 江藤 俊昭 氏
長野県長野市議会 議長 寺沢 さゆり 氏
沖縄県読谷村議会 議長 伊波 篤 氏
- 各地からオンライン登壇も！オンライン議会の展開事例
講師：月刊「ガバナンス」編集主幹 千葉 茂明 氏（コーディネーター）
滋賀県大津市議会 議会局長 清水 克士 氏
茨城県取手市議会事務局次長 岩崎 弘宣 氏
愛知県市知立市議会 議長 中野 智基 氏
福岡県春日市議会 議長 松尾 徳晴 氏
福岡県春日市議会 議員 米丸 貴浩 氏
- コロナ2年の経験をどう活かして行くか？
講師：法政大学総長 廣瀬 克哉 氏
- 地方議会における男女共同参画の推進と実践
講師：日本大学法学部教授 林 紀行 氏
東京都豊島区議会議員 出産議員ネットワーク呼びかけ人
永野 裕子 氏
宮城県柴田町議会 議長 高橋 たい子 氏
宮城県柴田町議会 副議長 平間 奈緒美 氏
- 速報！議会改革度調査ランキングとトレンド
講師：早稲田大学マニフェスト研究所事務局長 中村 健 氏
- Z世代にも届く！デジタルを活用した広報・広聴
講師：株式会社 POTETO Media 代表 古井 康介 氏
ZEXT 代表 小林 真子 氏
ZEXT 副代表 吉永 一輝 氏
- いまこそ問われる！地方自治と議会の役割
講師：大正大学社会共生学部 教授 片山 善博 氏

④ 研修名 全国若手市議会議員の会 全国役員会・研修会@ひがし北海道

日 時 2022年7月14日～15日

場 所 網走市・斜里町

参加議員 3名

研修内容

○「博物館 網走監獄」視察

- ・施設の概要を受け・歴史について（映像にて学ぶ）
- ・アニメ「ゴールデンカムイ」の聖地としての観光企画により新たな年代層の取込状況について

○「全国唯一！廃蛍光灯からガラス工芸品を～流水硝子館エコピリカ」視察

- ・施設の概要やガラスづくりの背景を踏まえた各種取組について
- ・冬季はガラス製作の釜から発生した排熱を暖房として再利用し、夏季は気温が高い日に節電のため釜を休ませるなど、省エネの取組状況について

○「若市議 同世代・国後島元島民3世から見た北方領土問題の現在」

講師：国後島元島民3世

(有)サイNSTAジオたかはし 代表取締役 高橋 友樹 氏

- ・北方領土の歴史的経過について
- ・ロシアによるウクライナへの軍事侵略を踏まえた最近の動向について
- ・北方領土におけるゴミ処理施設やサケマス流し網禁止といった現状の問題について
- ・ビザ無し交流などの今後の目指す姿等について

○「元島民から見た北方領土問題・現地視察」

- ・前日の講演を受けて現地視察（知床峠より国後島を視察）

○「小型観光船KAZUI」について

- ・再発防止に向けて旅客船の監査・処分の厳格化の内容等について

⑤ 研修名 「子どもたちにどう伝えるー多様な性ー」当事者との意見交換会

日 時 2022年7月30日

場 所 札幌市

参加議員 1名 研修会参加人数 11名

講 師 (株)ブラッシュアップ

「さっぽろレインボープライド」実行委員長 柳谷 由美 氏

研修内容

多様な性に関して教育現場の取組状況や問題点等を意見交換した。

当事者と参加者が意見交換会することにより、課題や取組の工夫など共有することができた。

主な意見等

- ・生徒が自分の性自認・性的指向に不安を抱え、数年後に性別が変わっている事もある。
- ・制服のマイナーチェンジを進めているがすべての生徒の希望に合わせることに困難がある。
- ・性的マイノリティの生徒への対応がきっかけになり、校則の見直しに発展した。
- ・多様性を尊重することと、現場の管理システムがかみ合っていない。

⑥ 研修名 全国若手市議会議員の会 研修会

日 時 2022年8月22日～24日

場 所 東京都

参加議員 3名

研修内容

○「首都圏と日本～地域の振興と発展～について」

講師：明治大学名誉教授・元東京都副知事 青山 侑 氏

- ・元東京都副知事として係わってきた事例「1995 とうきょうプラン（都心機能更新・羽田空港4本目滑走路・3環状道路・京急立体化）」について
- ・オリンピック後に都市政策が進展してきた経過等について

○「虎ノ門ヒルズ駅前開発」視察

- ・東京都施行の都市計画道路「環状2号線」と建物の一体的整備の現状等について
- ・東京BRT本格運行を視野に入れたバスターミナル整備等について
- ・幹線道路との連携や鉄道と街の一体的な街づくり等について

○「人権外交を超党派で考える議員連盟について」

講師：元農林水産大臣 衆議院議員 さいとう 健 氏

- ・超党派議員の特徴や構成メンバーについて
- ・米国のマグニッキー法の日本版立法を視野に入れた準備等について

○「N校の教育方針やカリキュラムと独自の学校行事及び地方活性化・廃校利用について」

講師：学校法人角川ドワンゴ学園 専務理事/N高等学校 校長
奥平 博一 氏

- ・N高等学校の概要・運営方法について
- ・廃校施設活用について

○「内閣府による自治体等への災害対策支援について～ISUT（災害時情報集約支援チーム）～」

講師：内閣府 政策統括官（防災担当）付 参事官（防災デジタル物資支援担当）付
参事官補佐 塚 偉 氏

- ・ISUT（災害時情報集約支援チーム）の概要について
- ・チーム設立に係わる経緯、派遣基準、構成メンバー、具体的な活動内容について

⑦ 研修名 「若者が抱える『困ったな』に寄り添いたい その2」

日 時 2022年8月27日

場 所 札幌市

参加議員 1名 研修会参加人数 15名

講 師 特定非営利活動法人 CAN

特定非営利活動法人 ねっこぼっこのいえ

研修内容

様々な理由により家庭や社会のサポートが得られない子ども・若者たち等を支える団体から、支援活動の実践報告をして頂き、課題など意見交換した。

主な意見

- ・支援のために身近な「居場所」としての拠点づくりと支援の充実が必要。
- ・児童福祉法が改正になり、支援の年齢制限が撤廃されたが、地域の中で支援活動している、多くの団体等に財政的な支援が必要。

⑧ 研修名 「若者が抱える『困ったな』に寄り添いたい その3」

日 時 2022年10月10日

場 所 札幌市

参加議員 1名 研修会参加人数 15名

講 師 Mind Pilates 代表 米田 幸代 氏

札幌乳児院・社会的養護自立支援事業コーディネーター 安田 徹 氏

研修内容

- 講師が幼少期から里親制度等によって育った経験を、同じ境遇の子ども達や支援者を支えたいと言う思いで自らの生い立ち等をお話し頂いた。
- 社会的養護自立支援事業コーディネーターとして、自立に向けた若者と向き合う活動の様子を（個人情報以外）報告して頂いた。
- 社会養護の子どもの自立に向けてのサポートやアフターケア、地域での関わりについての活動報告・意見交換

主な意見等

- ・問題点としてケアリーバーのアフターケアの必要性、一時保護後の家庭復帰をどう支えるか、親からの虐待等が発見できず一時保護されない子どもの対応、事業対象外の年齢に達した後の支援、ヤングケアラー、シングルマザーなど家庭まるごとの支援が必要等。
- ・社会養護の事業は、全国シームレスになっていかなければならない、地域だけで頑張るのではなく、里親制度支援のネットワークを築いて行かなければならない。
- ・福岡市里親養護支援共同事業「ファミリーシップ福岡」などを参考に今後活動していきたいと考えている。

⑨ 研修名 第52回 北海道母性衛生学会学術講演会

日 時 2022年10月29日

場 所 札幌市

参加議員 1名

研修内容

- 一般講演 1. 男性の父性意識の形成から父親役割の獲得に至るまでの経験
～妊娠期の妻、我が子との関わりから～
2. オンライン産後2週間健診の実践
3. 妊婦健診を受けられずに分娩に至った事例の養育に関する意思決定の過程
4. 産後うつ病に対する妊娠期の予防的介入
～実施状況と影響因子の検討～
- 座長：旭川医科大学産婦人科学講座 助教 中西研太郎 氏
- 特別講演 『リプロダクティブヘルス・ライツと出生前診断・着床前遺伝的検査』
- 座長：北海道大学産婦人科学教室 教授 渡利 英道 氏
- 演者：日本産科婦人科学 理事長 木村 正 氏
- シンポジウム テーマ『妊産婦支援の流れ、医療・行政の取り組み・連携を考える』
- 座長：北海道大学 新生児科 助教 古瀬 優太 氏
1. 医療機関と地域のスムーズな連携を目指して
－ファミリーサポートチーム活動の実際－
北海道大学 三上 薫子 氏
2. 妊婦～産後の行政、関係各所との連携について
北海道大学社会福祉士 渋谷 麻美 氏
3. 5点以上は要注意！？－特定妊婦スクリーニングとは－
釧路赤十字病院 平山 亜里沙 氏
町立中標津病院 藤田 泰 氏
4. 総合母子周産期センターにおける（母子のための地域包括ケア）
旭川厚生病院 岩上 知映 氏
5. 札幌市における妊産婦支援について
札幌保健所 齊藤 佳代子 氏

⑩ 研修名 日本最大の政策コンテスト優秀賞が勢揃い！

トップランナーに学ぶ 「受賞事例研修会」

主催：マニフェスト大賞実行委員会

日 時 2022年11月9日～10日

場 所 東京都

参加議員 1名

研修内容

- ・2022年マニフェスト大賞 優秀賞受賞（躍進賞・コミュニケーション戦略賞、グットアイデア賞、成果賞）個人・団体発表
- ・2022年マニフェスト大賞【議会改革賞・ローカルマニフェスト大賞】
首長の部（議員）・会派の部（個人・団体）発表

⑩ 研修会 全国若手市議会議員の会 全国役員会および研修会

日 時 2022年11月14日～15日

場 所 大阪市

参加議員 2名

研修内容

- 「政を祭りに！エンタメ×民間の力で社会課題を解決する」
講師：(一社) UMF 代表 高村 治輝 氏
- 「若手市議のネット活用事例」
講師：全国若手市議会議員の会 有志5名
- 「若手市議だからこそ出来る！ネット活用のイロハ」
講師：参議院議員 山田 太郎 氏
- 「官民連携・市民共創のまちづくり～民間と組みやすい市役所が地域を変える！～」
講師：泉大津市長 南出 賢一 氏
- 「大阪関西万博 現状の概要と各地域への展開」
講師：大阪府 職員

3) 広報広聴事業

- ①札幌市政に関する取材・編集・記事の作成および提供を立憲民主党札幌支部に業務委託している。
- ②研究研修会・視察調査で学んだ成果、定例議会・各委員会や札幌市の重要事業について各議員が市政報告を作成し市民に配布・発送した。

4) 資料作成事業

- 市政に関する資料の収集、整理、議会質問作成の補佐および資料の収集整理等
・政策審議会の事務補助を立憲民主党札幌支部に業務委託している。